

令和 3 年度事業報告書（案）

<p>令和 3 年 6 月 第 1 回荒尾市地域公共交通活性化協議会 （書面決議）</p>	<p>【議事】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 2 年度事業報告(案)及び収支決算(案)並びに監査報告について 2. 荒尾市地域公共交通網形成計画の達成状況について 3. 令和 3 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 4. 令和 4 年度荒尾市生活交通確保維持改善計画(案)について <p>→ 全項目 承認</p> <p>【報告】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 路線バス、乗合タクシー及びおもやいタクシーの利用状況について 2. 公共交通の利用機会拡大による新たな地域需要創出事業について
<p>令和 4 年 1 月 第 2 回荒尾市地域公共交通活性化協議会 （書面決議）</p>	<p>【議事】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について <p>→ 承認</p>
<p>バス乗り方教室の実施</p>	<p>令和 3 年 12 月 15 日、カンガルー保育園の園児約 170 人を対象にバス乗り方教室を実施した。合わせて、保護者用の「無料バスお試し乗車券」を配付し、親子でバスに乗車してもらうきっかけとした。</p> <p>お試し乗車券利用枚数：6 枚（各バス停からあらおシティモールの利用）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>モビリティマネジメントの実施 （一人ひとりの生活に応じた公共交通の利用促進事業）</p>	<p>いきいきサロン 9 か所（154 人）を訪問し、行動プラン表やお試し乗車券などを配付して、公共交通の利用実績や今後の利用意向などを調査した。 （詳細は別紙参照）</p>
<p>公共交通の利用促進に関する情報発信強化</p>	<p>市の広報紙にておもやいタクシーの利用方法や、利用促進の取り組みなどについて情報発信を行った。</p>

荒尾市モビリティマネジメント事業の実施結果について

1. 実施目的

荒尾市では高齢化が進行しており、移動の問題が顕著に現れる後期高齢者の急増が懸念される。一方、公共交通利用者数は減少傾向にあり、市の財政負担が増加している。

持続的な公共交通の運営には、公共交通の利用促進が不可欠であるため、利用に伴う、負担感や不安感を軽減し、公共交通への転換の契機とすることを目的として実施した。

2. 実施対象

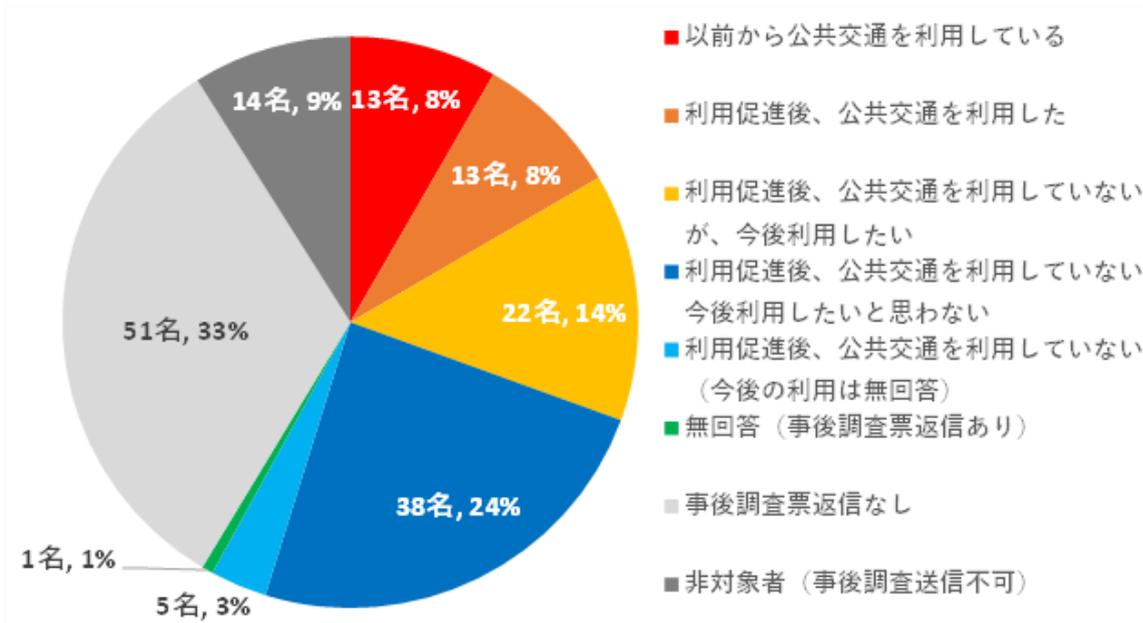
運転免許証自主返納の関心度や健康への影響という観点で公共交通への転換を促すことに鑑み、いきいきサロン（社会福祉協議会が支援）の参加者を対象とした。なお、公共交通の利用の有無や年齢・性別を問わず、協力意向のある方全員を対象として実施した。

3. 事業の流れ

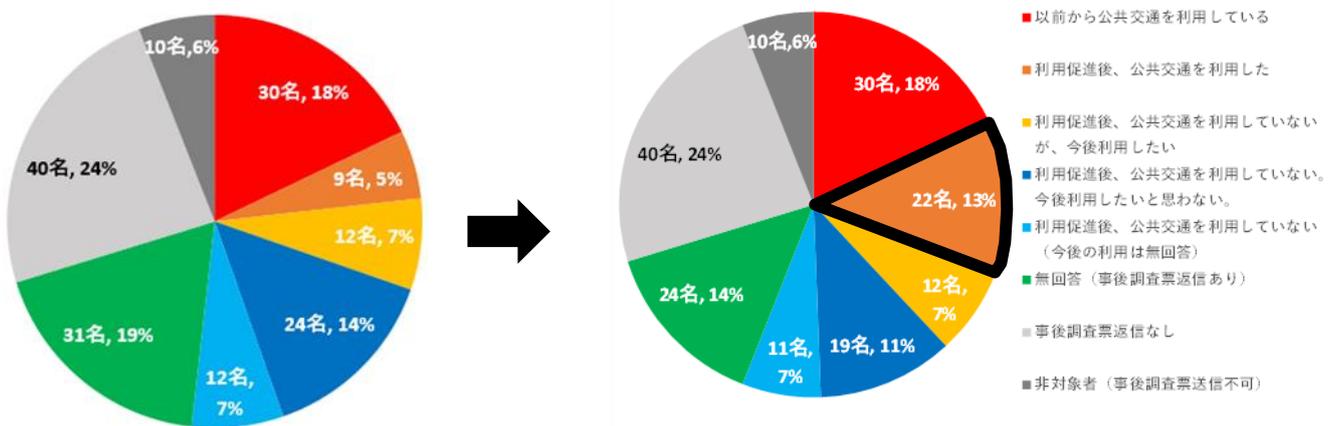
	イメージ	内容
① 事前調査/ 利用促進 8-11月 →訪問		いきいきサロン9会場に直接訪問し、事前調査票および利用促進ツール（動機付け冊子、行動プラン表、お試し乗車券、路線図、時刻表など）を配付後、事前調査への協力を呼び掛けた。（154名）
利用体験 8-12月		8月～12月までバスの利用体験期間（乗車券利用期間）とした。（43枚利用） ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、実施期間を延長
② 事後調査 1月 →郵送		本事業参加の感想、利用促進ツールの効果確認、運転免許返納意向、お試し乗車券や公共交通の利用実績、今後の利用意向について伺った。郵送にて調査票を送付した。（92名 64%）
③ フィード バック調査 2月 →郵送		フィードバックでは、交通診断カルテ（公共交通に転換した事によるCO2削減、カロリーの増加等）、今後公共交通を利用した場合の効果の説明資料などを送付した。（76名 53%）
④ 目標達成度 調査（昨年度 対象者） →郵送		1年後の長期的な効果の確認のために、2回目となる事後調査を実施。

4. 事業の成果

(令和3年度)

お試し乗車券
312枚配布中 43枚利用

令和2年度対象者における長期的効果



5. まとめ

- ・社会福祉協議会と連携して事業実施したこと、また、直接訪問したことにより、事前調査及び事後調査について高い回答率を得ることができた。
- ・比較的活発な高齢者を対象者として選定し、時刻表や路線図の見方など、公共交通利用の方法について一緒に考えたことで、公共交通への高い転換率を得ることができた。